

コンクリートのトレーサビリティ確保技術に関する研究委員会

第7回全体委員会議事要録

日 時：平成26年3月5日（水）13時00分～15時00分

場 所：JCI第3会議室（12F）

出席者：

（委員） 杉山央、渡辺博志、有川智、大久保孝昭、中村秀明、草野昌夫、
角倉英明、西田朗、渡邊悟士

（オブザーバー） 相良貴光

（事務局） 岡田遼

資料：

- No.7-全体-1 第7回全体委員会議事次第
- No.7-全体-2 第6回全体委員会議事要録
- No.7-全体-3 研究委員会報告会（案）
- No.7-全体-4 研究委員会報告会会告（案）
- No.7-全体-5 研究委員会報告書序文（案）
- No.7-全体-6 研究委員会報告書1章（案）
- No.7-全体-7 研究委員会報告書3章（案）
- No.7-全体-8 研究委員会報告書3.3節（案）
- No.7-全体-9 研究委員会報告書4章（案）
- No.7-全体-10 研究委員会報告書4章関連添付資料（案）

1. 前回議事要録の確認

・資料 No.7-全体-2 をもとに、前回議事の確認があり、予定していた床スラブ増設工事での試行実験およびWG 主査・幹事の名称使用の承認（研究委員会にて）の追加報告があった。

2. 研究委員会報告会について

- ・資料 No.7-全体-3～4 をもとに、報告会の実施について確認があった。
- ・報告書は3/20までにWGで取りまとめてHPにアップロード（1データ20MB以下との制限のため、容量の大きいデータは分割）し、委員長が3/31までに事務局に提出。
- ・当日配布資料はプレゼンデータの抜粋などとし、6/20までに事務局にデータ送付。
- ・報告会は6/27の13:00～16:30日比谷図書文化館コンベンションホール。
- ・受付は12時開始予定である。
- ・会告はPDFを事務局より委員に送るので、委員から関係者に案内。

3. 研究委員会報告書について

・資料 7-全体-5~10 をもとに、報告書の内容について確認があった。各資料は作成途中段階のため、後日追記・修正版を HP にアップロードし、各 WG で確認して提出版とする。

(1) 全般（書式など）について

- ・和文は明朝、英数字は Century、章などのタイトルはゴシック（太字にはしない）。
- ・句読点には「、」と「。」を使用。
- ・①やローマ数字は使用不可。
- ・章などのタイトルは1字下げ。
- ・図表のタイトルは、番号の前に「-（全角）」を入れ、ゴシック（太字にはしない）。
- ・担当箇所の最後に執筆担当者を記載。
- ・CD 配布のため、カラー表示可。
- ・その他、再送する執筆要領をもとに確認。執筆要領自体の書式は、必ずしも執筆要領に従っていない（1行の文字数など）ため、報告書フォーマットとしては使用できない。

(2) 序文について

- ・氏名、所属などについて誤りがないか確認し、修正の必要があれば委員長に連絡。

(3) 1章について

- ・本文および図-1.2 の「構造物管理者」を「構造物の管理者」に修正。
- ・図-1.1 および図-1.2 の「セメント、骨材」を「セメント、骨材 他」に修正。

(4) 2章について

- ・特許に関しては、本文に年ごとの出願数や出願主体などの傾向に関する分析結果を記載。個別の事例紹介は不要だが、内容についても全体的な傾向について追記を検討。
- ・第4回全体委員会で各委員に依頼された情報シートへの原図の貼付け対応を再度依頼。

(5) 3章について

- ・3.3.2 の「JIS A 5308-2008」は最新版のものに修正。

(6) 4章について

- ・4.2.3 の「傾倒」は「回答」に修正。

4. その他

- ・研究委員会の成果の概要を、年次大会論文集に「報告」として掲載することが義務付けられているため、各 WG 主査で担当部分の原稿を作成。

以上